

令和4年度
公益財団法人兵庫丹波の森協会事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	5
事業の状況	9
I 公益目的事業	
公1 森林文化（地域づくり）の創造	9
公2 生活創造活動への支援	20
公3 芸術文化の振興	23
公共 丹波地域情報の発信等	24
II 収益事業会計等	
収1 利用者への利便提供等事業	25
他1 芸術文化団体等活動支援事業	25
III 法人会計	25
施設の利用状況	27
(1) 丹波の森公苑	27
(2) 丹波年輪の里	28
(3) ささやまの森公園	28
(4) 丹波並木道中央公園	29
事業の受託状況	31

令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

兵庫丹波の森協会は、昭和63年(1988)に設立(平成24年(2012)公益財団法人へ移行)され、「丹波の森宣言」(昭和63年9月)に基づき、人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援に取り組むとともに、県立4施設(丹波の森公苑、丹波年輪の里、ささやまの森公園、丹波並木道中央公園)の指定管理者として、丹波の森づくりの拠点施設の運営を担ってきた。

平成30年度には、「丹波の森宣言」から30周年を迎え、今後の30年を見据えた方向性「丹波の森づくりのこれから」を示し、その実現に向けた取組を始めた。

折しも、令和元年度末から新型コロナウイルス感染症パンデミックが世界中を席卷、これまでの日常生活のあり方は一変され、未だその終息が見えない。

このような混沌とした状況の中、丹波の森構想推進の原動力となりその礎を築かれた河合雅雄先生が令和3年5月亡くなられた。河合先生が取り組まれた丹波の森大学、縄文の森塾、ウィーン国際交流のシンボル事業でもあるオオムラサキの保護増殖等々、当協会の主要事業の展開は河合先生なくしては考えられない。あらためて、丹波の森づくりに傾けられた河合先生の熱意とご功績に敬意を表するとともに、コロナ禍からの脱却に向けた考え方のヒントが、河合先生の教えの中にあるのではないかと考える。先生のご遺志を受け継ぎ、より豊かな丹波の森づくり、人づくりに努めなければならない。

令和3年度は、新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない中でのスタートとなったが、ワクチン接種が始まり接種率の高まりや感染対策を徹底し、感染拡大の数度の波をくぐりながら、計画した事業はほぼ実施することができた。

丹波地域は、豊かな自然環境や森のスローライフなどの生活スタイルに欠くことができない地域特性を有し、新型コロナと共に生きることとなる今後の社会にとって、最も適応した地域とされ、田園回帰や二地域居住に広がり移住者の増加につながっている。

丹波の森づくり活動では、令和3年度は、シンポジウム(「丹波の森づくりの新展開に向けて」～次代のもりびとと共に～)を開催し、自治会や自治協議会等に向けた調査報告と方性を示すことができた。

また、地域づくり計画等の策定では、丹波篠山市が未来に向けた集落の維持と活性化を目指す「ワクワク農村未来プラン」を、丹波市は氷上回廊が育んだ生きものなど生物多様性の保全を盛り込んだ「第2次環境基本計画」の見直しを、丹波県民局では2050年を展望した地域の将来像を描き、2030年代初頭に向けた方向性を示す「丹波新地域ビジョン」を策定し、コロナ禍の現状を踏まえ、少子高齢化や地球温暖化が進む中での持続可能な地域づくりについて方向性が示された。

県政では、8月に齋藤元彦兵庫県知事が就任、行財政運営方針の見直しとして公社等のあり方と併せた県立施設の指定管理者選定方法が課題とされ、原則公募方式による競争性の導入が明示された。丹波の森づくりの拠点である県立4施設の指定管理者として、当協会は地域と共に実績を積み上げてきたが、令和6年度以降3施設が対象となる指定管理者の選定では、公募による競争性導入の可能性も見込まれている。次期の選定に向けては、「丹波の森構想」推進における「兵庫丹波の森協会」の存在意義とともに4施設の連携や一体的な管理体制の効果を打ち出すことが必要である。

さらに令和4年度は、県の行財政改革に伴う受託事業の見直しや補助金の削減の他、基本財産を活用した果実運用収入の大幅な減少など、今までにない厳しい収支状況が見込まれる。

こうした中ではあるが、従来からの取組を着実に進め未来に繋ぐため、森の自然や文化と調和した地域生活情報の発信、生物多様性を重視した環境学習の推進（新規事業「縄文の森ユース躍動プロジェクト」）、里山の価値を見直し、丹波産材の活用を促す木育の推進など様々な分野の学習、交流、地域づくり事業等を、ウィズコロナ・ポストコロナ時代に向けた新しい生活様式の中で先導して推進し、地域を支援していく。

ウィーンの森親善訪問は、新型コロナウイルスの終息まで当面実施を見合わせるが、ウェブ会議システム等を活用した交流の検討やオオムラサキの飼育支援については、個体の提供が滞り飼育ができない現状の中、搬送方法等の調査検討に取り組む。

芸術文化においては、丹波地域の秋の風物詩となっている「丹波の森国際音楽祭シェーベルティアードたんば」を引き続き開催するとともに、丹波文化団体協議会等の活動を継続して支援することにより、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進していく。

丹波の森研究所では、リモートワークや移住・二地域居住推進の研究を進め「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」の重要テーマについて、10年後、20年後、30年後の丹波のあるべき姿をわかりやすく示すことが必要である。大学や地域、行政機関と連携し研究・調査に取り組むとともに、様々な市民活動を支援するシンクタンクとしての役割を果たしていく。

一方、「丹波の森宣言」に基づく「丹波の森構想」については、30年が経過する中で、特に若い世代の認識が低下しているとの県のアンケート結果が出された。このことを深く反省し、あらためて小学生から高校生までを含め、次代を担う若い世代を対象に地域学習や広報を通じて浸透を図ることが大きな課題である。

なお、当協会が指定管理を担っている県立4施設は、丹波の森宣言の実践施設として欠くことのできない機能を有している。次期の指定管理者選定に向けては、令和3年度に検討を進めた4施設連携事業を実践し、人的交流を含む施設間の連携強化を図り、里山文化の魅力発信、芸術文化の振興に向けた取組の充実を図る。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

(1) 魅力ある地域づくりの推進

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切に作る心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、新型コロナウイルス感染予防に配慮した運営を行いながら、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、シンボルの森として里山を楽しめる施設となるよう維持管理を行う。

2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を行う。また、生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。また、著名な講師を招聘するなど各講座・研修等の内容の充実を図り、シニア世代の豊かな学びと社会参加を支援する。

3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。地域で芸術文化活動を展開している丹波文化団体協議会等の活動を支援するほか、丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばのコンサート等の開催により、地域の特色ある芸術文化活動を広く発信し、その活性化と発展を推進する。

また、丹波の森公苑ホールは、天井耐震化工事等計画的な改修工事を実施するとともに、丹波の森公苑の施設全般について老朽化の改修工事を推進する。

- ・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで、幅広い実習内容を工夫すると共に、団体及び個人利用者向けには、木工キットメニューの見直しを随時行う。

林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木育キャラバン事業等の木育活動や、木材の普及を進めるため、木材研修会や情報収集広報活動等を行う。

- ・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

また、市内小中学校の校外学習の場として、各行事の趣旨を生かしたプログラムの開発にも努める。(森のようちえん、自然学校、トライやるウィーク等)

さらに、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組を通して、広葉樹を中心とした樹林の維持造成を推し進め、水源地として魅力ある里山づくりに努める。

- ・「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。

また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。

令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

- ア 丹波の森大学の開設
- イ ウィーンの森親善訪問事業
- ウ 丹波の森研究所
- エ 地域づくり支援事業
 - ・ 地域づくり支援事業
 - ・ 季節を彩るミニガーデンイベント開催事業
 - ・ たんばオープンガーデン交流促進事業
 - ・ 丹波の里山づくり発信事業
 - ・ 戦略的移住推進モデル事業委託調査業務

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ク 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性を育む地域づくりの推進

- ア 丹波地域生物多様性保全事業
- イ 丹波の森公苑里山事業
- ウ 丹波の森公苑環境学習推進事業
- エ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）

- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウイーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波（丹波篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催
- ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業
- キ 座っ展 -丹波で坐る木の椅子-

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催

【全施設】

【全施設】

II 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の状況

(資金ベース)

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

※見え消しは新型コロナウイルスにより中止となった事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第32期 テーマ 「森の恵み」 ・募集定員：60人 ・受講生数：62人 ・受講料：8,000円 ・開催時期：5月21日(土) ～令和5年1月14日(土) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム 丹波篠山市民センター 全8回(うち1回現地学習)	1,388,000	1,362,379
	イ ウィーン市の森親善訪問事業 (協会事務局)	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーン市の森等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○ウィーン市13区ヒーツィングと丹波篠山市・丹波市との友好親善提携の締結について ・令和4年5月にウィーン市13区ヒーツィング区長から、都市間友好親善提携についての申し入れ。 ・丹波篠山市、丹波市と協議を行い、都市間友好親善提携を進めることを決定し、12月両市議会に対し、説明を行う。 ・令和4年8月、ウィーン市13区仲介役のラクナー氏とWEB会議を行い、友好親善提携や交流の在り方について意見調整を実施	207,000	205,193
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○「丹波の森」を考える小委員会 令和3年度の県民局調査で、「丹波の森宣言」等の認知度は3割未満で、特に若い年代での認知率が低いことが分かった。 「丹波地域住民」に対し、「丹波の森宣言」や「丹波の森構想」の認知度を高めるための効果的な取り組みを検討するため、理事並びに県市職員で「丹波の森」を考える小委員会を設置。 令和4年度は、3回の小委員会を開催し、現状や課題などワークショップ形式で様々な意見を出し合い、丹波の森構想の推進として、4つの項目で意見や今後の方向性を整理した。 開催日：11月30日(水) 12月9日(金) 令和5年3月15日(水) 内容：①理念浸透への取り組み推進 ②協会・両市の連携推進 ③地域づくりの展開指針 ④人づくりの展開指針 今後は、平成30年に整理された「丹波の森づくりこれからに向けて」を一つの基本として、丹波の森づくりの推進について整理を行い、今後の取り組みを示す「丹波の森づくりアクションプラン」に取り組む。 ○丹波の森づくりの推進にあたり地域課題解決に向けた調査研究 ①集落再生に資する拠点のあり方研究 ・昨年度までに実施した調査研究から、拠点の階層構造とネットワークについては、従来から把握されている地縁型(自治会、まち協)、地域間型(都市農村交流など)、広域型(SNSなど)に加えて、移住者間ネットワークや趣味趣向でつながるネットワーク、有機農法やそば打ちなど職(仕事)を介した師弟型ネットワーク等が、移住や二地域居住を効果的に促進するために重要である。(地元居住者や移住者へのヒアリング等より)	6,035,000	5,998,270

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリング：5/12、5/31、6/8、7/14、8/6、8/27、9/8、11/10、12/22、1/12、1/19、2/15 ②丹波地域における移住および二地域居住促進施策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度までの調査で、促進施策としては、多様なネットワークをどのように繋ぐか、地域に関わる仕事の創出、これらを支援・展開する拠点づくり、それを支える体制や広報戦略などが重要とした。 ・今年度は、こうした提言の具体化に向けて、まず関連する情報を整理し、リスト化する。リスト化ではネットワークの実態、構成人材、活動テーマ等を把握し、人材ネットワーク構築のための基礎データを整備する。 ③フォーラム「持続可能なコミュニティ」の形成に向けて～人・ネットワーク・ストック・技術を活かす～の開催 <ul style="list-style-type: none"> 開催日：令和5年3月7日（火） 場所：丹波の森公苑多目的ルーム 共催：丹波県民局 ・プログラム <ol style="list-style-type: none"> 1) 丹波の森研究所成果発表：丹波地域における移住および二地域居住等現状分析 総括：角野丹波の森研究所長 発表：出町研究員 2) 丹波の地域づくり「今後の展望と取組」 発表：今井丹波県民局長 3) パネルディスカッション テーマ：地域運営の仕組み革新を考える 4) パネラー等 杉山武志：兵庫県立大学准教授 田川 剛：丹波篠山市移住コーディネーター 衛藤彬史：人と自然の博物館研究員 田林信哉：Satoyakuba 代表 出町 慎：NPO 佐治倶楽部代表 ○情報交換（まちづくり方策の検討、助成事業等の情報など、丹波の森研究所、丹波県民局、丹波篠山市、丹波市） ・地域プロジェクトチーム会議 丹波の森研究所の調査研究報告などをベースとして県民局、丹波篠山市、丹波市のまちづくり担当者との意見交換 実施日：11月17日（木） 		
	エ 地域づくり支援事業				
	地域づくり支援事業（協会事務局）	活力と魅力ある丹波の森（地域）づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援（アドバイザー派遣）、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○アドバイザー派遣 ①丹波篠山市河原町地区「河原町通り無電柱化完成記念鉾復活実行委員会」におけるアドバイザー業務（昨年度からの継続） <ul style="list-style-type: none"> ・道路上空に電線がなくなったことから110年ぶりに鉾を設置した鉾山巡行を実施する（令和5年春予定）ため実行委員会設置 ・実施日：5/14、6/18、7/30、9/17、11/4 ②丹波市の三寶寺境内周辺の植栽管理計画（三寶寺檀家総代会） <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：5/14、6/8 ③丹波市柏原町「かみばら雛めぐり実行委員会」におけるアドバイザー業務 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日：12/17 ④福住地区まちづくり協議会支援 <ul style="list-style-type: none"> ・戦略的移住推進モデル事業（兵庫県）の計画推進の協議会支援 ・協議会開催：5/12、7/14、9/8、11/10、1/12、3/15 	1,124,000	1,120,315

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	・季節を彩るミニガーデンイベント開催事業 (協会事務局)	美しい地域づくりの実現に向けて、丹波地域の住民の花と緑に関する意識の向上及び花と緑の地域づくり活動を一層推進するため、丹波の森公苑などの主要スポットに地域住民の手により制作したミニガーデンを展示し、地域を花や緑で飾る事業を実施する。	○丹波の森ミニガーデンの開催 ・制作説明会：9月10日(土) ・展示期間：10月1日(土)～30日(日) ・開催場所：丹波の森公苑、丹波並木道中央公園、丹波年輪の里(3施設、6枠) ・参加グループ：丹波の森花くらぶ、丹波市商工会女性部有志、南中ふれあい・いきいきサロン、篠山産業高校、篠山東雲高校、氷上高校	382,000	377,904
	・たんばオープンガーデン交流促進事業 (協会事務局)	個人の庭を広く一般に公開する社会活動として「オープンガーデン」が開催される。花を愛する人が花を通してつながり、「人がつながる」「花がつながる」、そして「交流が始まる」という趣旨に賛同し、協会としても丹波の森公苑に庭を作り、オープンガーデンに参加する。この活動により、ガーデニングのスキルアップだけではなく、花と緑のまちづくり、人々の交流、学習、環境美化などの様々な成果が上げられる。	○たんばオープンガーデンへの参加 ・開催日：4月24日(日) 5月22日(日) ・場所：丹波の森公苑	7,000	6,691
	・丹波の里山づくり発信事業 (協会事務局) 【丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託】	丹波地域では、「丹波の森宣言」に基づき、地域全体を一つの森として自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。「美しい里山」を次の世代へと繋いでいく取り組みを丹波県民局、丹波篠山市、丹波市及び(公財)兵庫丹波の森協会が協働で推進する。	○丹波の里山づくり支援(丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業) ・4～5年が経過した丹波の里山づくりモデル10団体にアドバイザー派遣業務についての課題や進め方についてヒアリングを実施。実施日：5/19、6/2、6/15、6/16、6/30 ・ヒアリングの結果、下記の9団体がアドバイザー派遣の継続を希望し、今年度から1地区が追加され、計10地区でアドバイザー派遣を行った。 (1)平松区森林愛好会(丹波市) (2)生郷里山づくり懇話会(丹波市) (3)NPOバィマスフォーラム丹波(丹波市) (4)下三井庄自治会(丹波市) (5)森の学び舎(丹波篠山市) (6)上板井自治会(丹波篠山市) (7)八幡共有山組合(丹波篠山市) (8)岩崎自治会(丹波篠山市) (9)和田里山づくり協会(丹波市) (10)国領自治振興会(丹波市) ・里山づくりアドバイザー会議 開催日：8/10、11/8、1/24、3/17 場所：丹波の森公苑 セミナ室 出席者：丹波農林振興事務所、里山づくりアドバイザー、丹波の森研究所、協会事務局	2,783,000	1,842,500
	・戦略的移住推進モデル事業委託調査業務 (協会事務局) 【丹波篠山市福住地区まちづくり協議会受託】	この事業は兵庫県の補助事業である「戦略的移住者推進事業」で、丹波篠山市福住地区まちづくり協議会からの依頼により「計画策定・活動支援」について、丹波の森研究所が支援する	○戦略的移住推進モデル事業(丹波篠山市福住地区)の推進支援、共同調査、事業アドバイスを行った。 ・モデル事業の最終年度となる今年度は以下の課題について協議した。 1) 住環境整備支援事業 福住地区内で物件公募開始⇒年度内整備完了までの進行管理 2) 複数の専門的な仕事を手伝う委託業者としての組合設立や雇用等についての検討 3) Uターン者等に提供できる魅力的な仕事の場や雇用の検討 4) 福住地区の空き家情報とその活用と開業の情報提供、開業のサポート 5) 空き家情報、移住・開業サポート、雇用情報の取りまとめなどを継続して行える体制の確立	900,000	897,136

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	オ 花づくり活動支援事業 (丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) ・内 容:草花等の育成知識習得、寄せ植え実習 ・受講者数:55人/募集70人 ・受講料:16,000円 ・講 師:県立フアーセンターから派遣 ・実施期間:7月~令和5年3月(年6回) ・場 所:丹波の森公苑創作工房 ○花と緑の教室(自主活動グループ) ・内 容:花と緑の教室を受講し、知識・技術を習得した者をリーダーとして、花の魅力を伝える花と緑の教室を地域単位で開催 ・グループ数等:5グループ・16人 ・受講料:13,600円 ・講 師:花と緑の教室を受講した者 ・実施期間:7月~令和5年3月(年6回) ・場 所:丹波の森公苑創作工房 ○園芸教室(応用創作講座) ・内 容:創作寄せ植えを中心とした知識修得、実習 ・受講者数:30人/募集36人 ・受講料:6,000円(材料費等別) ・講 師:ひょうごガーデンマイスター認定 田丸和美 ・実施期間:6月~令和5年3月(年6回) ・場 所:丹波の森公苑創作工房	1,251,000	1,250,800
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公苑)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、丹波篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催した。 ・開催日:10月30日(日) ・ワークショップ等 12ブース ・活動団体の作品展示等 13団体 ・特設ステージ 9団体 ・来場者数:4,800人	593,000	591,000
	キ 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、県民のスポーツ、レクリエーションの活動をさらに促進するため、課題や現状を踏まえ、各種の事業を見直しつつ、実施する。	地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。 ○工作室における木工クラフトの指導(通年) 団体 31団体 1,145人 個人 2,369人 ○ゴールデンウィークフェスタ 開催期間:4月29日(金・祝) ~5月5日(木・祝) ・親子工作教室 ・丹波ウッドワーカーズクラフト ・座っ展2022-丹波で座る木の椅子 ・アトリエ作品展 ・フリーマーケット、竹とんぼ教室、ツリーイング教室は中止 ○平日グラウンドゴルフ 営業日:140日 参加者数:2,732人 ○第6回「心を届ける たんば絵てがみコンクール」 テーマ「想い」 募集期間:9月1日(木)~12月28日(水) 応募総数:398人から487点 展示期間 ① 令和5年2月4日(土)~19日(日) ② 令和5年3月2日(木)~22日(水) 展示場所 ① 丹波年輪の里木の館 ② 兵庫県中央労働センター	2,949,000	2,810,360

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>○林産指導事業</p> <p>木を暮らしに取り入れるための普及（通年）</p> <ul style="list-style-type: none"> web サイトからの木材に関する情報提供 木木市（春、秋） <p>丹波市内の製材所や木工所と協力し、DIY向けの木材・端材を廉価で販売</p> <p>開催日：5月21日（土）、11月26日（土）</p> <ul style="list-style-type: none"> 木材業界や一般民の木材に関する木材利用相談などに応じている。 宍粟市、丹波市、猪名川町等の認定こども園や幼稚園、保育園の園児を対象とした木製玩具づくりワークショップを実施した。（12ヶ所） 多くの幼児に木製玩具を体験してもらうために、丹波市をはじめ阪神間の認定こども園や保育園等に玩具の貸出しを実施した。（1施設1週間31ヶ所） 		
ク	丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	<p>「県立丹波並木道中央公園」は、公園の資源である自然環境、生物多様性、里山、棚田、丹波の特産物などを活用して、来園者が憩いや安らぎを感じる事業やイベントを、地域や各種団体と連携強化を図りながら取り組む。</p> <p>また、令和3年度に、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムのコア施設として整備された「動く恐竜模型」「恐竜遊具」と、サイクルを生かした地域活性化の拠点として整備された「サイクルステーション」という新たな魅力が加わったことにより、多様な世代が楽しめる公園運営に努める。</p>	<p>【活力あふれる地域づくりに資する公園】</p> <p>＜第9回丹波なみきみちまつり「収穫祭」2022＞</p> <p>→</p> <p>開催日：10月2日（日）</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>＜棚田の赤米を活用したイベント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 田植え体験（一般） 開催日：5月21日（土） 募集定員：3組10人、参加者数：11人 田植え体験（認定こども園） 開催日：5月26日（木） 募集定員：なし、参加者数：47人 かかし立て（認定こども園） 開催日：9月7日（水） 募集定員：なし、参加者数：53人 稲刈り体験（認定こども園） 開催日：10月20日（木） 募集定員：なし、参加者数：47人 稲刈り体験（一般） 開催日：10月22日（土） 募集定員：3組10人、参加者数：0人 稲刈り体験（大山小学校） 開催日：10月27日（木） 募集定員：なし、参加者数：28人 <p>＜丹波茶・日本茶のイベント＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 新茶の飲み比べ（茶まつり連携） 開催日：6月4日（土） 募集定員：25人、参加者数：20人 和紅茶づくり 開催日：7月31日（日） 募集定員：8人、参加者数：8人 寒茶づくり体験 開催日：令和5年2月5日（日） 参加者数：8人 <p>＜黒枝豆収穫＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 黒枝豆の収穫体験 開催日：10月16日（日） 募集定員：40人、参加者数：23人 <p>＜ささやま狂言の会発表会＞</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>＜ギャラリーかやぶき民家＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 並木道水彩画倶楽部展覧会 開催日：4月29日（金・祝） ～5月3日（火・祝） 入場者数：189人 	3,970,000	3,588,271

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p><ノルディックウォーキング> 実施期間：毎月第3日曜日実施 実施回数：12回 参加者数：計78人</p> <p><心とからだの癒し講座> ・芝人形作り（園芸療法） 募集定員：10人、参加者数：12人 ・アロマストーンづくり（アロマセラピー） 開催日：5月17日（火） 募集定員：10人、参加者数：10人 ・玉ねぎの量感図（臨床美術） 開催日：6月21日（火） 募集定員：10人、参加者数：8人</p> <p><各種駅伝競走大会> 開催支援事業 ・丹波篠山市・丹波市中学生駅伝競走大会 開催日：10月19日（水） 参加者数：150名 ・丹有地区駅伝競走大会 開催日：10月26日（水） 参加者数：226名 ・ミニ駅伝大会（丹波篠山市教育委員会主催） 開催日：11月5日（土） 参加者数：120名</p> <p>【子育てに資する公園】</p> <p><間伐材を使った遊具の製作・更新> 4月 ゴーカートの小屋 4月 手押し車更新 4～6月 ブランコ製作 5～6月 手押し車更新 5月 クイズラリー看板製作 6月 ベンチ製作 7月 ブランコ製作 8月 ベンチ製作 9月 背もたれベンチ製作 10～11月 ベンチ製作 12月 木イス製作 1月 ベンチ修繕・塗装 2～3月 デッキ板製作</p> <p><プールあそび> 7月～8月の平日、1グループ 参加費：1人50円 利用者数：7月8人、8月16人</p> <p><そうめん流し> ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため 中止</p> <p><無料ぬりえ・管理棟おもちゃコーナー> 9月～再開 室内木製遊具の設置</p> <p><そり貸出> 冬に実施（貸し出しは無料）</p> <p><なみきみちわくわくフェスティバル> 実施期間：4月29日（金・祝） ～5月31日（火） 参加者数：計362人</p> <p>【環境との共生に資する公園】</p> <p><大人の木工教室> 実施期間：毎月第1・第3土曜日 募集定員：各回4人、参加者数：計48人</p> <p><なみきみちクラフト> 実施期間：年に数回、土曜日開催 開催日：6月11日、7月9日、 8月13日、9月10日 募集定員：各回12人 参加者数：計15人</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p><花と緑の教室> フラワーセンターとの連携事業 実施期間：年8回 募集定員：24人(12人×2回) ・第1回夏の草花の寄せ植えと管理法 開催日：5月20日(金) 参加者数：24人 ・第2回夏の花木を使った寄せ植えと管理法 開催日：6月17日(金) 参加者数：23人 ・第3回秋の苔玉づくりと管理法 開催日：9月16日(金) 参加者数：17人 ・第4回秋の草花の寄せ植えと管理法 開催日：10月21日(金) 参加者数：29人 ・第5回ポインセチアを使った寄せ植えと管理法 開催日：11月25日(金) 参加者数：28人 ・第6回正月を飾る寄せ植えと管理法 開催日：12月16日(金) 参加者数：30人 ・第7回早春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和5年2月17日(金) 参加者数：21人 ・第8回春の草花の寄せ植えと管理法 開催日：令和5年3月17日(金) 参加者数：30人</p> <p><たんばオープンガーデン> 開催日：4月24日(日)～25日(月) 5月22日(日)～23日(月)</p> <p><多肉の寄せ植え体験> 開催日：5月8日(日) 募集人数：10人、参加者数：10人</p> <p><ミニ門松づくり> 開催日：12月18日(日) 参加者数：20人</p> <p><トライやるウィーク> 受入期間：6月6日(月)～10日(金) 丹南中学校生徒4人受入</p> <p>【持続可能なパークマネジメントの推進】</p> <p><その他団体との大規模イベント> ・ひょうご里山フェスタ2022 開催日：10月30日(日) 参加者数：3,200人</p> <p><木材供給システム> 兵庫丹波の森協会・園芸公園協会が管理する施設等と調整しながら間伐材の提供など実施</p> <p><化石発掘体験会(丹波篠山市教育委員会)> 開催日：5月14日(土)、7月23日(土) 8月6日(土) 募集人員：各回10人 参加者数：計38人</p> <p><森のようちえん(丹波篠山市教育委員会)> 開催日：5月10日(土)、6月2日(木) 参加者数：40人</p> <p><兵庫ワク・パクライド(丹波県民局)> 開催日：10月16日(日) 募集人数：100人、参加者数：89人</p> <p><PARK LIFE> 広報紙「PARK LIFE」を年に4回配布。公園の旬のトピックスを表紙に取り上げる。を活用。</p>		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p><ホームページやSNSの更新> ホームページ、Facebook、Instagram、SNSを活用。本年度ホームページをリニューアル。</p> <p><持込企画の実施と調整> 【実施済みの団体】 ・並木道絵画倶楽部(展覧会、石ころアート) ・日本茶を楽しむ会「Tan-te」(日本茶イベント) ・楽々美香草(心とからだの癒し講座)</p> <p>【特色ある提案】 <なみきみちデイキャンプ> 開催日：11月26日(土) 参加者数：4人</p> <p><ヒノキのお皿づくり> 開催日：7月23日(土) 募集人数：5人、参加者数：3人</p>		
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波地域生物多様性保全事業(協会事務局)	平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。	<p>○丹波の森里山自然環境調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 昆虫を中心とした調査スタッフの育成 里山の植物・昆虫・野生動物を調査することにより、生物多様性の方向性を探ることを目的に、その調査スタッフを養成するため、兵庫県立人と自然の博物館の協力のもとにプログラムを開始する。 故河合雅雄先生の少年時代のように、網と虫かごを持って森に入り、生態系や食物連鎖を目の当たりにすることにより、自然と生き物が共生しているシステム＝生物の多様性を身近に感じ、知る。 研修会名：めざせ！昆虫リーダー ～丹波の昆虫リーダーはキミたちだ！～ 開催日：7月16日(土)・8月13日(土)・10月1日(土) 対象者：小学3年生～6年生の児童とその保護者 募集人員：30名程度(保護者含む) 応募者数：子ども33名、保護者35名計68名 参加者数：子ども20名、保護者20名計40名(抽選により決定) 講師：兵庫県立人と自然の博物館 八木 剛氏 NPO法人こどもとむしの会スタッフ 内容：昆虫採集、虫ずかんを作る、昆虫を分類する 	204,000	195,260
	イ 丹波の森公苑里山事業(丹波の森公苑)	丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。 また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。	<p>○里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修及び相談事業の実施。 【講座】 日程：10月～令和5年2月(6回開催) 受講者数：5人 参加費：1,000円 場所：丹波の森公苑 【相談】※令和3年度から開始 日程：随時 相談件数：95件 里山及び環境学習体験フィールドの整備 森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数22人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数20人)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備 	648,000	592,793

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>草刈り、生き物飼育場の整備を行う。</p> <p>○国蝶オオムラサキの舞う里山づくり オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導 (17 小学校、2 高校、10 事業所等) ・第 13 回記念放蝶会 日時：7月3日(日) 場所：丹波の森公苑管理棟正面玄関 参加者数：79人 放蝶数：25頭 ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテスト 対象：小学生 募集期間：8月2日(火)～9月30日(金) 応募総数：215点 作品展： ① ゆめタウン丹波会場 11月2日(土)～13日(日) ② 兵庫陶芸美術館会場 令和5年1月7日(土)～20日(金) 		
ウ	丹波の森公苑環境学習推進事業 (丹波の森公苑)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波縄文の森塾の開催 開催期間：5月～令和5年3月 参加料：6,500円 塾生：30人/募集30人(小3～6) 場 所：丹波の森公苑 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文土器づくり、ツリーイング、稲刈りなど ※縄文キャンプは、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○リーダー養成プログラム 自然体験活動サポーター設置(20名) サポーター：高校・大学生、社会人等 内容：自然体験活動のノウハウの取得 縄文の森塾の運営支援 ○環境学習支援プログラム ①親子・家族対象プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・春の里山ふれあいハイキング ※雨天のため中止 ・秋の里山ふれあいハイキング 開催日：10月30日(日) 参加者数：11人(定員30人) ※春の里山ハイキングの代替として、丹波の森フェスティバルにおいて実施 ・丹波いきもの大集合 開催日：7月16日(土) 会場：ゆめタウン丹波 参加者数：500人 ②幼児・小学生対象プログラム <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 開催期間：9月16日(金)～10月14日(金) 参加者数：570人 参加者：丹波地域の認定こども園、小学校等 ・出前講座の実施 オオムラサキ等関係 36回 ・国蝶オオムラサキ越冬幼虫探し 日時：令和5年3月11日(日) 参加者数：48人 	1,409,000	1,382,961

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
		<p>丹波新地域ビジョンにおけるシンボルプロジェクトである「たんば子ども王国プロジェクト」を受けて、丹波の森の再生(グリーンリカバリー)と故河合雅雄先生の理念を継承するとともに、次世代を担う中高生たちとの生物多様性の推進や人材育成を目指して、「縄文の森ユース躍動プロジェクト」事業を実施する。</p>	<p>○縄文の森ユース躍動プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・兵庫丹波の森協会では、「丹波の森づくり」の一環として「縄文の森塾」が小学生を対象として継続して開催されている。 ・近年では、生物多様性保全と農林業活性化のために、丹波の森の再生が大きな課題となっている。また、それに関わる人材育成も必要となっている。 ・そこで、「縄文の森塾」のアドバンスコースとして、次代を担う高校生や大学生などを対象とした「縄文の森ユース躍動プロジェクト」を推進することになった。 <p>対象者：中～高校、大学、若手社会人 実施場所：丹波の森公苑、氷上高校に隣接する山林、ユニットピアささやま等</p> <p>テーマ：縄文里山づくりや縄文文化から生物多様性の保全を考える 実施期間：令和4年度から3ケ年</p> <p>○【植物編】氷上高校に隣接する里山の再生と活用方法を学ぶ(高校の課題研究との共同カリキュラム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催日：6月3日(金)、8月30日(火) 10月14日(金)、令和5年1月30日(月) ・開催場所：丹波の森公苑、氷上高校農場周辺、黒井城跡等 ・対象者：県立氷上高校生徒 <p>○【動物編】野生生物と人との共生方法を学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野生生物フィールドワーク(4日間) ・開催日：8月2日(火)～5日(金) ・場所：ユニットピアささやま ・参加者：中学生、高校生、大学生・社会人 計9人 	2,522,000	2,517,582
エ	ささやまの森公園事業 (ささやまの森公園)	<p>人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。</p>	<p>○基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験班：草木で染めよう、布ぞうりを作ろう、多肉植物の寄せ植え等 プログラム回数：32回 参加者数：232人(定員267人) ・里山伝承班：黒枝豆を収穫しよう、そば道場入門、黒豆のお味噌を作ろう等 プログラム回数：16回 参加者数：158人(定員169人) ・自然学習班：バードウォッチング、3種類のホタルを観よう、秋の花と実を楽しもう等 プログラム回数：11回 参加者数：144人(定員165人) ・レクリエーション班：登山(雨天中止)、ツリーイング、アマゴつかみ等 プログラム回数：14回 参加者数：112人(定員134人) ・里山復元班：稲作体験、ベンチ作り、チェーンソー安全教室等 プログラム回数：14回 参加者数：191人(定員198人) <p>○森の学校(第15期生)</p> <p>動植物の観察、飯盒炊さん、森の木を切る体験、冬の生きもの探し等 募集定員：15人(小学3年～6年生) 参加者数：16人(10回/年)</p> <p>○団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：自然観察、ウッドクラフト森のようちえん等 参加者数：25団体、515人 	15,137,000	15,098,334

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・篠山東雲高校「里山文化」(第7回) ・間伐体験、ちまき作り、野草茶作り、シカ肉料理、黒豆味噌作り等 ・参加者数:生徒6人(17回/年) 		
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	167,586,000	164,494,555

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額																																	
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む) (丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機やパンフレット台の提供 ・生活創造活動支援のための相談・助言 ・生活創造活動グループサポート事業(グループ数実績:19グループ)	153,000	151,116																																	
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	○消費生活出前講座の実施(10回実施) ○消費生活にゅーすの発行(4回発行)																																			
イ 生活創造活動施設貸し館業務 (丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	利用者数(貸し館に係るもの) (単位:人)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>32,067</td> <td>29,685</td> <td>10,225</td> <td>14,477</td> <td>2,813</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>35,041</td> <td>28,510</td> <td>13,939</td> <td>19,466</td> <td>26,620</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>20,965</td> <td>23,193</td> <td>13,892</td> <td>16,700</td> <td>15,783</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>88,073</td> <td>81,388</td> <td>38,056</td> <td>50,643</td> <td>45,216</td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	施設	ホール・アトリエ	32,067	29,685	10,225	14,477	2,813	研修棟	35,041	28,510	13,939	19,466	26,620	テニスコート等	20,965	23,193	13,892	16,700	15,783	計		88,073	81,388	38,056	50,643	45,216	2,574,000	2,530,300
					H30	R1	R2	R3	R4																													
施設	ホール・アトリエ	32,067	29,685	10,225	14,477	2,813																																
	研修棟	35,041	28,510	13,939	19,466	26,620																																
	テニスコート等	20,965	23,193	13,892	16,700	15,783																																
計		88,073	81,388	38,056	50,643	45,216																																
施設使用料収入 (単位:円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設</td> <td>ホール・アトリエ</td> <td>4,658,450</td> <td>4,257,050</td> <td>2,366,500</td> <td>2,807,150</td> <td>461,000</td> </tr> <tr> <td>研修棟</td> <td>2,973,150</td> <td>2,297,000</td> <td>1,714,900</td> <td>2,077,200</td> <td>2,496,500</td> </tr> <tr> <td>テニスコート等</td> <td>2,960,050</td> <td>3,501,900</td> <td>2,486,900</td> <td>3,082,500</td> <td>2,288,950</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>10,591,650</td> <td>10,055,950</td> <td>6,568,300</td> <td>7,966,850</td> <td>5,246,450</td> </tr> </tbody> </table>			H30	R1	R2	R3	R4	施設	ホール・アトリエ	4,658,450	4,257,050	2,366,500	2,807,150	461,000	研修棟	2,973,150	2,297,000	1,714,900	2,077,200	2,496,500	テニスコート等	2,960,050	3,501,900	2,486,900	3,082,500	2,288,950	計		10,591,650	10,055,950	6,568,300	7,966,850	5,246,450				
		H30	R1	R2	R3	R4																																
施設	ホール・アトリエ	4,658,450	4,257,050	2,366,500	2,807,150	461,000																																
	研修棟	2,973,150	2,297,000	1,714,900	2,077,200	2,496,500																																
	テニスコート等	2,960,050	3,501,900	2,486,900	3,082,500	2,288,950																																
計		10,591,650	10,055,950	6,568,300	7,966,850	5,246,450																																
ウ スポーツ大会・文化教室の開催 (丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、グラウンドゴルフ大会の開催や丹波地域の団体のイベントを支援する。また、工作室を利用する木工特別教室、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	<p>○特別工作教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募集講座(年/1回~8回コース) 募集講座数: 31講座 募集定員: 682人 参加者数: 568人 ・定期講座 手仕事道具塾(年/24回) 参加者数: 252人(年間) 木工クラブ(年/24回) 参加者数: 142人(年間) Teshigoto work shop(年/24回) 参加者数: 123人 焼きペン教室(年/24回) 参加者数: 183人 <p>○グラウンドゴルフ大会(年4回予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 募集定員: 192人 (第1回)開催日: 6月7日(火) 参加者数: 173人 (第2回)開催日: 9月6日(火) 参加者数: 141人 (第3回)開催日: 12月6日(火) 参加者数: 177人 (第4回)開催日: 3月7日(火) 参加者数: 172人 <p>○緑の中のコンサート</p> <ul style="list-style-type: none"> 緑いっぱい自然あふれる苑内で、音楽を通して癒やしと安らぎのひとときを創設した。 ・県立柏原高等学校吹奏楽部コンサート 開催日: 9月11日(日) 場 所: 丹波年輪の里クラフト広場 	2,574,000	2,530,300																																		

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			観客数：400人 ・クリスマスコンサート(木製古楽器) 開催日：12月10日(土) 場 所：丹波年輪の里木の館ホール 観客数：107人		
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	○丹波OB大学 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・受講者数：112人(1年44人、2年26人、3年17人、4年25人) ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催期間：4月20日(水)～令和5年3月1日(水)(全18回) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・受講料：12,500円	1,981,000	1,974,720
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設(丹波の森公苑)		○丹波OB大学大学院 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・受講者数：37人(1年22人、2年15人) ・講座内容：基礎・応用講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催期間：4月20日(水)～令和5年3月1日(水)(全18回) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・受講料：12,500円		
	ウ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑)	多彩な地域資源を有する丹波地域の魅力の再発見を通じて、地域の特色を活かした地域づくりに結びつく学習の機会を提供する。	・テーマ：丹波につながる歴史再発見！～悠遠なる丹波史と伝統文化から学ぶ丹波の魅力～ ・開催期間：8月27日(土)～12月10日(土)(全5回) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員：100人 ・受講者数：124人 ・講 師：渡邊大門氏((株)歴史と文化の研究所代表取締役)ほか ・受講料：5,000円	620,000	618,668
	エ 丹波地域学ぶ高齢者のつどいの開催(丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、創作作品の展示を通して、日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい、交流を深め、生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	○丹波地域学ぶ高齢者のつどい ・開催日：9月22日(木)、23日(金) ・場 所：四季の森生涯学習センター ・参加者数：619人(丹波地域内の高齢者大学受講生など) ・内 容：作品展(出品数115点。書、工芸、手芸、日本画、写真、洋画、彫刻、短歌・俳句・川柳) 芸能発表(発表8団体) 民謡、吹矢、合唱、太極拳、謡曲、詩吟、オカリナ	180,000	180,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入(丹波の森公苑)(丹波年輪の里)(ささやまの森公園)(並木道中央公園)	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	○中・高校生にふさわしい体験プログラムの開発を行う。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 【丹波の森公苑】 期間：6月7日(火)～9日(木) 受入生徒数：4人 【丹波年輪の里】 期間：6月7日(火)～11日(土) 受入生徒数：4人 【ささやまの森公園】 期間：6月7日(火)～11日(土) 受入生徒数：7人	1,000	596

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<p>【丹波並木道中央公園】 期間：6月6日(月)～10日(金) 受入生徒数：4人 ・インターンシップ</p> <p>【丹波の森公苑】 期間：11月8日(火)～11日(金) 受入生徒：篠山産業高校 1人</p>		
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催 (丹波の森公苑)	将来の芸術文化を担う子どもたちの豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、舞台芸術による表現や創造する楽しさを体験する機会を提供することにより舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図る。	<p>○レッスン ・開催期間：7月24日(日)～10月15日(土) (全15回) ・場 所：丹波の森公苑多目的ルームほか ・対 象 者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・参加者数：49人 ・指 導：劇団ウエスト ・参加費：6,000円</p> <p>○発表公演 スモーキーパレー ・開 催 日：10月16日(日) 2回公演 ・場 所：ライフピアいちじま大ホール ・入場者数：660人 ・入 場 料：大人700円、高校生以下無料</p>	1,728,000	1,727,100
	ウ 丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし語りベクラブの活動支援 (協会事務局)	子どもの健やかな成長とこころ豊かな地域づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行している「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」(全10集)を活用し、家庭や地域に広める活動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復に対する助成や研修会を開催する。	<p>○「丹波のむかしばなし」を活用した交流会、研修会の実施 ・役員会 開催日：7月14日(木) 場 所：丹波の森公苑会議室1</p> <p>○小学校のクラブ活動の支援 実施場所：丹波市立大路小学校 内容：語りベクラブのメンバーが「むかし話クラブ」の活動支援を行う。 ・場所：大路小学校</p>	58,000	52,604
(4)公2 共通経 費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	196,352,000	196,325,887

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催 【丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会】 (主催：実行委員会 事務局を担当し、負担金を支出)	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・シューベルトの音楽を楽しみ交流を深める「オープニング・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の実施等 ・過去のコンサート映像等の動画配信	テーマ「シューベルト！君こそ我が薙い」 ・開催期間：9月11日(日)～11月19日(土) ○オープニング・サロンコンサート ・開催日：9月11日(日) 2回公演 ・会場：お菓子の里丹波ミナル館 ・入場者数：118人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円) ○ガラ・コンサート ・開催日：11月19日(土) ・会場：田園交響ホール ・入場者数：202人 ・入場料：大人2,500円(当日3,000円)、高校生以下無料 ○街角コンサート(丹波地域2市6会場) ・入場者数：506人 ○ふるさと音楽ひろば(小学校9校、1校中止) ・参加者数：1,012人 ○キン・コン・カン・コンサート(高等学校1校) ・参加者数：124人 ○これまでのコンサート等の動画配信 ・配信動画：87本 ・視聴数：3,428回	1,300,000	1,300,000
	イ 丹波の森公園ホール等自主事業(丹波の森公園)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	○第2回丹波の森芸術展 ・開催日：令和5年2月25日(土)～26日(日) ・会場：丹波の森公園多目的ルーム ・出展者数：8人 ・来場者数：430人	994,000	994,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマン約200人が一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来演者との交流を行う。	アートクラフトフェスティバル in たんば 2022 ・開催日：11月5日(土)～6日(日) ・出店者数：157人 ・入場者数：17,000人	400,000	400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	第34回丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ大賞展) ○一般の部 ・出展数：60人、67点(うちテーマ22点) ・展示期間：9月10日(土)～25日(日) ・場所：丹波年輪の里木の館ホール ・入場者数：1,188人 ○ジュニアの部(高校生以下) ・出展数：90人、75点 ・出展校等：小学校8校、中学校1校、高校4校、その他1校 計14校 個人出展6点 ・展示期間：10月15日(土)～30日(日) ・場所：丹波年輪の里木の館ホール ・入場者数：1,185人	900,000	900,000
	ウ 丹波の森アートフェスティバルの開催(丹波の森公園)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○丹波の森新春書き初め展 ・開催期間： ① 令和5年1月25日(水)～29日(日) ② 令和5年2月5日(日)～9日(木) ・場所： ① 丹波の森公園多目的ルーム他 ② 四季の森生涯学習センター東館 ・来場者数：①1,525人 ②842人 ・出品数：687点 ○兵庫県文化賞受賞者小品展 ・開催期間：10月6日(木)～9日(日) ・場所：丹波の森公園多目的ルーム ・来場者数：76人 ・出品者数：31人	123,000	120,000

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
	エ 展示ギャラリーの開設 (丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	利用件数：10回(絵画展、写真展など) 開催場所：丹波の森公苑展示ギャラリー ※計画修繕工事のため8月下旬より休止	30,000	30,000
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ○子どもたちのための和楽器鑑賞会 (丹波文化団体協議会による出前授業) ・開催期間：9月～令和5年1月 ・場所：丹波管内の小学校10校 ・参加者数：215人	120,000	119,107
	カ 丹波の森公苑芸術文化配信事業 (丹波の森公苑)	緊急対応型雇用創出事業(県委託事業)	○WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公苑に推進員(1名)を配置して業務を行う。	1,958,000	1,955,005
	キ 座っ展-丹波で坐る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「座る・触る」ことにより、作品のすばらしさを体験することができる。	○「座っ展2022-丹波で坐る木の椅子-」 ・開催期間：4月29日(金・祝) ～5月5日(木・祝) (年輪の里ゴールドデンウイークフェスタ) ・開催場所：丹波年輪の里木の館ホール ・出展者数：木工作家14人、28脚の展覧 ・来場者数：719人	120,000	115,000
(3) 公3共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	35,699,000	35,698,099

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 またSNSは社会的な構築をインターネット上ですることができ、今まで知り得なかった人や地域とつながり、若者世代にも伝わりやすくなる。SNSを活用し、ネットワークを広げ、ユーザーが「共感」する情報をより多くの人に発信していく。	○年報(年1回発行) ・8月発行 協会ホームページに掲載 ○協会ニュース ・12月発行 関係機関配付 協会ホームページに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ・アクセス件数 延べ 4,054件(兵庫丹波の森協会) 〃 〃 21,683件(丹波の森公苑) 〃 31,086件(丹波年輪の里) 〃 30,630件(ささやまの森公園) 〃 74,727件(丹波並木道中央公園) ○フェイスブック、インスタグラムによる情報発信 ・随時更新 ○フェノロジーカレンダーによる情報発信	1,726,000	1,717,699
	イ 運営委員会の開催 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ・開催日：令和5年3月7日(火) 15人出席 ○丹波年輪の里運営協議会 ・開催日：令和5年3月2日(木) 12人出席 ○ささやまの森公園運営協議会 ・開催日：令和5年3月16日(木) 14人出席 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議 ・第1回：9月27日(火)17人出席 ・第2回：令和5年2月22日(水)13人出席	288,000	268,509

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	○公益目的以外で施設を貸与 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ○施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 ① 飲み物の自販機設置 ②物販販売場所の提供 ③レンタサイクル事業 ・丹波年輪の里 ①レストラン施設貸与 ○木工クラフトキット、加工木材等を販売	6,824,000	4,667,793

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30 団体 【主な実施事業】 ①ふるさとの心をうたう丹波音楽祭 ②丹波文化活動交流会 ③地域文化活動支援事業 ・子ども和太鼓教室 ・子ども池坊いけばな教室 ④丹波地域文化フェスティバル ⑤先進地視察研修 ⑥会報誌の発行	152,000	142,085

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
(1) 法人会計	ア 協会維持運営 (事務局) (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (ささやまの森公園) (並木道中央公園)	・評議員会・理事会開催費 ・協会事務局管理部門の人件費及び維持運営費	○評議員会 ・第22回評議員会 4月1日(金) (書面同意) 理事の選任について ・第23回定時評議員会 6月29日(水) 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について、理事の選任について、評議員の選任について、定款の一部改正について ・第24回評議員会 9月1日(木) (書面同意) 理事の選任について ○理事会 ・第39回理事会 4月1日(金) (書面同意) 常務理事の選定について ・第40回理事会 6月14日(火) 令和3年度事業報告及び収支決算の承認について、令和4年度収支補正予算(第1次)について、第23回評議員会の招集について、役員等賠償責任保険契約について ・第41回理事会 6月29日(水) (書面同意) 理事長、副理事長及び常務理事の選定について ・第42回理事会 9月1日(木) (書面同意) 第24回評議員会の招集について ・第43回理事会 10月18日(火) 令和4年度収支補正予算(第2次)について、意見交換(ウイン市13区、もりびと賞、指定管理他)	13,509,000	13,255,861

項目	事業名	事業目的(内容)	実施状況	予算額	決算額
			<ul style="list-style-type: none"> ・第45回理事会 令和5年3月24日(金) 令和4年度収支補正予算(第4次)について、令和5年度事業計画及び収支予算について、役員等賠償責任保険契約について、第25回評議員会の招集について ○新理事説明会 9月27日(火) (公財)兵庫丹波の森協会の取り組みについて ○監事監査 5月27日(金) ・令和3年度事業報告及び収支決算について 11月15日(火) ・令和4年度上半期事業報告及び収支決算について ○協会事務局管理部門の人員費及び維持管理費 		

令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会施設利用状況

(1) 丹波の森公苑

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期使 用料収入	前年度対比
ホール	30 ^日	7 ^日	23.3 [%]	750 ^人	246,700 ^円	1,743,000 ^円	14.2 [%]
練習室兼楽屋	171	110	64.3	2,028	207,600	371,300	55.9
楽屋A	171	4	2.3	23	4,700	40,000	11.8
楽屋B	171	4	2.3	12	2,000	13,300	15.0
創作工房	308	135	43.8	3,831	358,700	275,900	130.0
多目的ルーム	308	202	65.6	12,577	1,175,000	1,033,200	113.7
和室	308	79	25.6	661	53,700	44,600	120.4
会議室1	308	167	54.2	1,893	163,200	149,600	109.1
会議室2	308	83	26.9	750	76,000	64,200	118.4
会議室3	308	144	46.8	2,108	194,900	172,400	113.1
セミナー室	308	172	55.8	4,800	475,000	337,300	140.8
絵画アトリエ	0	0	—	0	0	525,400	0.0
彫刻アトリエ	0	0	—	0	0	114,150	0.0
テニスコート	203	170	83.7	6,499	1,968,450	2,792,900	70.5
グラウンド	280	152	54.3	9,284	320,500	289,600	110.7
計	3,182	1,429	44.9	45,216	5,246,450	7,966,850	65.9
前年度計	4,516	1,898	42.0	50,643			
前年度対比		75.3 [%]	106.9 [%]	89.3 [%]			

(2) 丹波年輪の里

施設	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
ホール	307	307	100.0	19,421	0	0	
工作室A	307	11	3.6	710	41,700	28,200	147.9
工作室B	307	55	17.9	3,072	94,200	64,550	145.9
アトリエA	307	67	21.8	926	13,600	0	0.0
研修室A	307	87	28.3	2,515	209,550	219,500	95.5
研修室B	307	103	33.6	1,737	209,550	162,150	129.2
会議室	307	68	22.1	764	54,800	56,900	96.3
工作共同	307	257	83.7	2,374	184,030	187,490	98.2
イベント広場	307	151	49.2	46,093	215,400	155,150	138.8
計	2,763	1,106	40.0	77,612	1,022,830	873,940	117.0
前年度計	2,646	1,054	39.8	58,917			
前年度対比		104.9%	100.5%	131.7%			

(3) ささやまの森公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
	日	日	%	人	円	円	%
一般	308			18,557			
プログラム				1,234			
団体利用				969			
その他				397			
運営協議会				14			
計				21,171			
前年度計	308			25,128			
前年度対比				84.3%			#

(4) 丹波並木道中央公園

内訳	稼動 日数	利用 日数	利用率	利用人数	使用料収入	前年度同期 使用料収入	前年度対比
一般	359 (駐車場は 365日 開場)			284,677人	円	円	%
プログラム				5,911			
団体利用				3,526			
その他				0			
円卓会議				41			
計					294,155		
前年度計				197,442			
前年度対比				149.0%			

令和4年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業の受託状況

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
兵庫県立丹波の森公園指定管理	兵庫県	150,808,000	150,808,000	0	・県立丹波の森公園に係る施設維持及び運営管理業務			
兵庫県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	78,011,700	68,925,700	9,086,000	・県立丹波年輪の里に係る施設維持及び運営管理	施設の維持管理に係る次の再委託は、省略した。 ・清掃委託 ・機械警備委託 ・各種設備保守管理委託 ・ホール運営業務 等		
兵庫県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	14,698,900	14,698,900	0	・県立ささやまの森公園に係る施設維持及び運営管理			
兵庫県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	40,188,000	40,188,000	0	・県立丹波並木道中央公園に係る運営管理			
丹波の森公園改修事業 (デニスコート改修)	兵庫県	84,799,000	0	84,799,000	丹波の森公園デニスコートの人工芝張替、排水路更新等の改修を行う。			
丹波の森公園芸術文化配信事業	兵庫県	1,955,005	0	1,955,005	WEB配信により、芸術文化の鑑賞機会の提供や芸術文化活動の情報発信を行うため、丹波の森公園に推進員(1名)を配置して業務を行う。			
都市公園整備費	兵庫県	8,000,000	6,215,041	1,784,959	県立丹波並木道中央公園に係る維持修繕業務を行う。			
太古の生きものの館の施設管理	丹波篠山市	184,800	171,600	13,200	丹波篠山市立太古の生きものの館の専任職員不在時の施設管理業務を行う。			
丹波篠山市福住地区の戦略的移住推進モデル事業委託調査業務	丹波篠山市福住地区まちづくり協議会	900,000	900,000	0	・シンポジウム「丹波の森づくりの展開に向けて」の企画及び開催 ・連携プロジェクトアドバイザー ・新たな移住推進の仕組み等の研究調査			
ひょうご森づくりサポーターセンター事業木育活動実施支援業務	兵庫県木材業協同組合連合会	990,000	990,000	0	木育キャラバンの実施 ・県が決定した実施箇所について、県立丹波年輪の里に保管している木製玩具等を運搬、運営する。 ・安全に配慮した上で児童を対象に遊びを通じて木育活動を実施する。 ・保育士等職員や保護者等に対して最新の木づかい情報を提供する。			

(単位:円)

事業名	委託者	契約金額	収入済額	未収額	業務概要	再委託先	再委託額	備考
丹波の里山づくり発信事業	丹波の里山 づくり促進事 業実行委員 会	1,842,500	0	1,842,500	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援業務(実施計画および中長期計画策定支援) ・丹波地域の里山づくりを行うモデル団体公募により選定された4地区に対してアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援する。			

382,377,905 282,897,241 99,480,664